

編集後記

SF作家アイザック・アシモフによって書かれた、ロボット工学3原則 (Three Laws of Robotics) とはロボットが従う原則であり、内容としては

- ・第一条：ロボットは人間に危害を加えてはならない。また、その危険を看過することによって、人間に危害を及ぼしてはならない。
- ・第二条：ロボットは人間からあたえられた命令に服従しなければならない。ただしあたえられた命令が、第一条に反する場合は、この限りではない。
- ・第三条：ロボットは、前提第一条および第二条に反するおそれのないかぎり、自己をまもらなければならない。

というようなものです。これは人間にも同じように言えるものだと思いますし、ロボットのほうがずっと賢い。作業量が多いし安全だし、手抜きもしなければ嘘も付かない、徒党を組んで悪さもしない。欠点は故障もするし、人間にはなれない。だけど、人間よりやさしい面も持っているのではないだろうか？

阪神淡路大震災で倒壊した六甲道駅の復旧工事のとき、傾いた高架橋の下の危険な部分に入ったのは、地

震発生以来、外国の捜査犬くらいしかいなかった。

まだ余震が続く危険な場所で高架橋の梁を支える仕事をしたのは人間で、その時最初に「私がいけます」という技術者がいたという話がプロジェクト X27 に掲載されています。こんなとき「私がいけます。いって作業を完遂し高架橋を復元します」と言ってくれるロボットが居たらどんなに頼もしいでしょう。

こんなことを言っている、ロボットも死んだら困る。そんな危険作業は承服しかねる。と言うのがロボット製作者の思い遣りではないでしょうか。

今月号はロボット・無人化施工に関する特集号でした。ロボットに比べて人間の気弱さが出た時期、編集委員の役目も十分に果たせない中、各方面の方々に無理なお願いをし、ようやく発刊にこぎつきました。この編集を通じ、改めて各方面からの建設に対する技術の結集力の強さに、まだまだ魅力ある業界であるのかなと再認識いたしました。最後になりましたがロボット・無人化施工を目指して、その技術による新たな建設の発展を祈願しまして、また不自由な中、ご執筆頂きました方々に深く感謝申し上げます。

(大林・久留島)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

中野 正則 国土交通省

編集委員

廣松 新	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
米田 隆一	農林水産省
小沼 健一	(独) 鉄道・運輸機構
村東 浩隆	株高速道路総合技術研究所
伊藤 崇法	首都高速道路株
高津 知司	本州四国連絡高速道路株
平子 啓二	(独) 水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設株
和田 一知	川崎重工業株
岩本雄二郎	株熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機株
金津 守	コマツ
藤永友三郎	清水建設株
村上 誠	新キャタピラー三菱株
宮崎 貴志	株竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業株
中山 努	西松建設株
斉藤 徹	株NIPPO コーポレーション
三柳 直毅	日立建機株
岡本 直樹	山崎建設株
大林 正明	株奥村組
石倉 武久	住友建機製造株
京免 継彦	佐藤工業株
久留島匡繕	五洋建設株
庄中 憲	施工技術総合研究所

1月号「建設機械特集」予告

- ・今後の建設施工の機械化～試行的ロードマップ作り～
- ・これからの重点政策～次の世代に引き継ぐ国土づくり・くらしづくり～
- ・「建設産業政策2007」について
- ・建設機械マーケットの変遷
- ・道路建設における情報化施工の現状と今後の展望
- ・施工面から見た建設機械の動向と要望
- ・建設施工の機械化の歴史
- ・建設機械用モニタの歴史と進化
- ・建設機械の盗難防止装置
- ・2種類のバッテリー駆動ショベルの開発と今後の展開
- ・未来型クレーンの考察
- ・油圧ショベルの運転席の過去～将来～これまでの取り組みと今後の展開～
- ・施工総研における新機種、新商品の開発

No.694「建設の施工企画」 2007年12月号

〔定価〕1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成19年12月20日印刷

平成19年12月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日見

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支店	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支店	〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支店	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支店	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支店	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支店	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支店	〒760-0066 高松市福園町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322